

首都圏段戸会会報

平成23年度総会・懇親会報告

高33回 阿部由美子



古澤武雄同窓会長（高14回）

りに来たという意気込みで頑張ろうとのお話をありました。久しぶりにお目にかかることができた懐かしい恩師の藤原肇先生（日本史）、小澤正樹先生（英語）、永田裕孝先生（体育）、古田幹雄先生（国語）、横井勝市先生（英語）からもご挨拶をいただき、岡高在任中の印象などを伺いました。

震災後まもなく多くのミュージシャンが被災地へ入り、人々の心を支えたことは記憶に新しいですが、今回の講演会では、オーケストラ指揮者の大河内雅彦さん（高42回）が「指揮者の役割」についてお話し下さいました。一人一人がアイデ

素晴らしい秋日和に恵まれた10月29日（土）、第39回首都圏段戸会総会・懇親会が開催されました。震災後の外出控えが心配されましたが、人との絆や故郷を改めて見直したいという意識が強まつたからでしょうか、昨年度とほぼ同じ238名の方にお集まりいたることがないました。

岡崎からお越しいただいた、古澤武雄

同窓会長（高14回）、鈴木眞成教頭先生

（高33回）のご挨拶に続いて、永田宏会長より、震災から7ヶ月を経て、経済的にも社会的にも問題が山積している中、復興が始まっているが、家康の関東を造



鈴木眞成教頭先生（高33回）

平成24年4月
第29号

発行責任者
首都圏段戸会
会長 永田 宏
編集発行人
広報担当 磯尾 進



横井勝市先生



永田裕孝先生



藤原肇先生



古田幹雄先生



小澤正樹先生

音楽を認めて「共有・共感」する事が肝心のことです。指揮者は、楽譜から作曲者の意図を汲み、人の心に届くフレーズの頂点を探し、表情の付け方を考えるのだそうです。実際にベートーベンの「運命」を題材に、ご友人の佐藤裕子さん（ピアニスト）、中原達彦さん（作曲家）とともに普段のリハーサル風景をピアノ連弾で再現して下さいましたが、全楽章に出現する同じようなフレーズを、プロックを積み重ねて壮麗な建物をつくるよう組み立てていく様が印象的でした。

校歌を聴くと涙が出るという人もいるでしょう、空気の振動でなぜ人は感動するのか不思議に思いつつ、音楽が人の心を癒す大きな力に魅せられた大河内さんは、ウイーンで出会った指導者に

"Kommunikation ist alles!" 「コミュニケーションがすべてだ」と教えられたそうですね。この言葉はおよそどの世界にも通じるものと思いました。司会、段戸音楽会、段戸華教室、三年目となるふるさとの味「D-miso」、運営の関係者それぞれのパートが力を發揮し全体として素晴らしいパフォーマンスを実現する段戸会も、オーケストラのように調和を保ちつつ、会員一人一人の持てる力を合わせて難局に挑み、未来を創造していくものです。



講演会 大河内雅彦さん



高13回 村木さん 高59回 谷繁さん「運命」や如何に！

平成24年度総会・懇親会は10月27日（土）、アルカディア市ヶ谷（私学会館）にて開催されます。

古希の昭和35年卒招待をうけて

高12回 奥村 憲 古希でお



成瀬 徹さん 奥村 憲さん 鶴田文男さん

招きを受け

た昭和35年

卒は首都園

に約55名、

そのうち15

名が出席し

久しぶりの

再会を喜び

あった。会

講演会と一味違つて勢いを感じ、本当に良かつた。会場の雰囲気は、多くの出席者をテーブル配置年代別組み合わせにしてもらったのが良いのか、アチコチで世代間の会話の輪ができ、笑顔での名刺交換の姿も見られ、同郷の親しさが会場一杯に感じられた。同窓会最後に、校歌の歌詞を思い出しながら声張り上げて歌えた喜びを味わうことができ、また感想文を書かせていただけたことに感謝致します。

次回も元気でお会いできますよう、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
(長野県伊那市在住)

昨年3月の東日本大震災窮状を見るた
びに、53年前の高校3年伊勢湾台風被害
で授業も充分できなかつた事を思い出し、
東日本の復興を祈るところです。

私たちの恩師は、それぞれ個性的であつたが鬼籍に入られる方が目立つようになりました。私の同期には岡高教員子
息が数名おり、私の父は漢文・古文・日本史を教え「ポンタ」と渾名されていました。当時はあまり聞きたくなかった渾名ではありましたが、今は自分から同期生に「ポンタ」の息子と自己紹介し、笑

いを誘つており不思議な心境です。今のが高校生は、教師に親しみを持つて渾名で呼んでいるのだろうかと聞いてみたいところです。

講演会は、現役バリバリの指揮者が自己の成長と指揮者の役割を自信に満ちて語り、実演された事は「功成りて語る」講演会と一味違つて勢いを感じ、本当に良かつた。会場の雰囲気は、多くの出席者をテーブル配置年代別組み合わせにしてもらえたのが良いのか、アチコチで世代間の会話の輪ができ、笑顔での名刺交換の姿も見られ、同郷の親しさが会場一杯に感じられた。同窓会最後に、校歌の歌詞を思い出しながら声張り上げて歌えた喜びを味わうことができ、また感想文を書かせていただけたことに感謝致します。



古希を迎えた皆さん

総会出席者の一言

高16回 大山 達雄 第39回段戸会総会懇親会



野村親信さん 鈴木弘恵さん 大山達雄さん

0名以上の
参加を得て
大盛会のう
ちに終了し

た。私自身、
小さい時か
ら転校を繰
り返して

育ってきたせ
いもあって(岡崎高校も転
入卒業です)、小学校から大学、そ
して米国大学院まで数多くの「同窓会」、

中でもちよつと異色である。通常の学校

単位の同窓会は年齢の大きさく違う人々が集まるため、たいていの場合、参加者は高齢層に偏りがちであるが、段戸会ではシニアからヤングまでかなり広く程よく分散しているのが、素晴らしい特色と言えるのではないかろうか。このように多くの年齢層の卒業生が集まるというのは、同窓会の特徴、あるいは特典ともいいうべき、新たな人のネットワークができるこそ、そしておまけにシニアパワー、ヤングパワーが得られることがいついた点で素晴らしい。さらにもう一段戸会の場合、アーベントとして各分野の専門家の講演があり、ハイレベルの音楽演奏も堪能できるという普段ではなかなか味わえない機

会が楽しめるのがよい。

段戸会世話人の皆様の努力、尽力に感謝すると同時に、今後とも段戸会がこの特色を生かします活動を活発化されることを期待します。

高30回 米津 智徳 私は段戸会の世話人になり10年ほどになりますが、この間で段戸

会はいろいろな面で発展をしてきました。

私は段戸会の世話人になり10年ほどになりますが、この間で段戸

会はいろいろな面で発展をしてきました。私は段戸会の世話人になりましたが、今年も世話を引き継ぐことになりました。これまでの経験と知識を活かして、段戸会をさらに活性化させていきたいと思います。段戸会は、卒業生たちが集まる場所であり、卒業生たちのつながりを強め、卒業生たちの交流を深めることで、卒業生たちの人生をより豊かにすることができると思います。段戸会は、卒業生たちの人生を豊かにすることができる場所であり、卒業生たちのつながりを強め、卒業生たちの交流を深めることで、卒業生たちの人生をより豊かにすることができる



木村美穂子さん 米津智徳さん 石川定雄さん 中野宏信さん 岡本和也さん

個人的に多くは残念ながら今年も世話を引き継ぐことになりました。これまでの経験と知識を活かして、段戸会をさらに活性化させていきたいと思います。段戸会は、卒業生たちが集まる場所であり、卒業生たちのつながりを強め、卒業生たちの交流を深めることで、卒業生たちの人生をより豊かにすることができると思います。段戸会は、卒業生たちの人生を豊かにすることができる場所であり、卒業生たちのつながりを強め、卒業生たちの交流を深めることで、卒業生たちの人生をより豊かにすることができる

き、岡崎高校の素晴らしい改めて実感できました。

我々はちょうど50歳を超えた世代で子供の手が離れ始める時期であるので、今後は女性の参加を増やしていきたいと考えています。

高40回

大田 武



長瀬けい子さん（高6回）
磯谷陽子さん（高41回）
大田 武さん

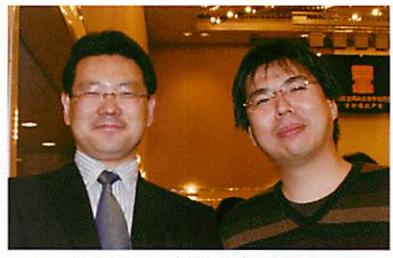
5年前に首都圏段戸会の世話人となつて以来、世話人会の活動を重ねる中で、多くの方と年次を超えて交流させて頂いております。

総会では、大河内雅彦さんの講演「指揮者の役割とは」を拝聴しながら、爽やかに晴れた午後、まさに芸術の秋を、一人勝手に堪能しておりました。遠く故郷を離れた地で、様々な分野で大活躍される、諸先輩方、同期、或いは後輩諸君と

交流できる嬉しさ、ありがたさは年々高まる一方で、歴史と伝統ある、我らが母校の偉大さを感じずにはいられません。これからも、時間の許す限り、首都圏段戸会の活動に参加して行こうと思つております。

高46回 大川 博

数年前mixi.



大河内雅彦さん（高42回） 大川博さん

新しいこと段戸会総会。

を知ることができるので毎年楽しみにしておりました。

冗談はさておき、世代・業種を超えた

お会いの場で、年次を超えて

お会いの場で、年次を超えて

内さんの指揮者という想像できない職業の一端を垣間見れたことと、同郷の出だと知ったことが収穫。ご本人の努力と才能で活躍されているのだから出身は関係ないのだが、同郷の方ががんばっているのを見るとそれだけで嬉しくなるのはなぜだろう。

200人超の出席者から、同郷出身、同じ大学卒、同じ業界の方々を見つけて

は負けないよう追いかけていこうと思う。総会後に在学中の方から進路相談の連絡をいたしました。追われる年齢になつていたと気づく。こうして次の世代とながつたことも収穫なのかもしれない。

当違いな懐古趣味に浸るイベントとなつてしまつてゐる。

そんな折に、会報の記事を依頼された

ので思い切つてここで「次回は同級生を十人連れてくる」ことを宣言しよう。ついでに、ペナルティも作つてしまおうか。

十人に満たない分の会費を寄付し、十人を超えた分は……ん? 話が不謹慎な方

に向かってきた。一行抹消、と。

冗談はさておき、世代・業種を超えた

お会いの場で、年次を超えて

お会いの場で、年次を超えて

内さんの指揮者という想像できない職業の一端を垣間見れたことと、同郷の出だと知ったことが収穫。ご本人の努力と才能で活躍されているのだから出身は関係ないのだが、同郷の方ががんばっているのを見るとそれだけで嬉しくなるのはなぜだろう。

200人超の出席者から、同郷出身、同じ大学卒、同じ業界の方々を見つけて

は負けないよう追いかけていこうと思う。総会後に在学中の方から進路相談の連絡をいたしました。追われる年齢になつていたと気づく。こうして次の世代とながつたことも収穫なのかもしれない。

高61回 平野 優未

新見 由佳



新見由佳さん 中根可奈子さん 平野優未さん
岡高同窓会幹事の大島一嗣先生（高24回）

親会に初めて参加させて頂きました。

方も多く最初は不安もありましたが、どう

の方も大変気

さくにお話し

してくださいり、とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。岡高の先輩方は本当に幅広い分野でご活躍されているのだと改めて実感しています。また、お世話を

になりましたが、どう改めて実感しています。また、お世話を

して頂きました。岡高の先輩方は本当に幅広い分野でご活躍されているのだ

と改めて実感しています。また、お世話を

して頂きました。岡高の先輩方は本当に幅広い分野でご活躍されているのだ

と改めて実感しています。また、お世話を

して頂きました。岡高の先輩方は本当に幅広い分野でご活躍されているのだ

と改めて実感しています。また、お世話を

して頂きました。岡高の先輩方は本当に幅広い分野でご活躍されているのだ

と改めて実感しています。また、お世話を



最年長 神谷さん（中47回）
最年少 大崎さん
大山さん（高62回）



佐和子・貴雅 今泉さんファミリー



最年長 神谷さん（中47回）
最年少 大崎さん
大山さん（高62回）



乾杯！ 神谷さん（高12回）

特 集

人生お楽しみ中！

二つの世界

高8回 杉浦 嘉久

私がいまの目黒区柿の木坂に居を構えて43年になります。

しかし、そのうちの約30年は住所と寝床こそあれ全く別の世界で生きていました。朝7時半～8時から夜10時～11時頃まで会社に縛られ、延べ日数で年間3ヶ月余の海外出張、同じく3ヶ月余の国内

出張と若さに任せて動きまわっていました。海外から戻った翌朝、息子に「幼稚園はいつから始まるの?」と聞いたら「パパ僕はもう1年生だよ!」と返つてきました。海外から戻った翌朝、息子に「幼稚園はいつから始まるの?」と聞いたら

60歳で定年になつた折、これから長い

(……)人生を考えた時、社内での2年間の天下り人生を送るよりも、知力・体力が充実している内に生活の場を地元(柿の木坂)へ戻し、地域の人々との交流、また40年間内外で培ってきたノウハウの提供等、お世話をなつている地域への恩返しも兼ねて、地元での樂



東根小学校の子ども達から、お小遣いを集めている地域会議(区の姉妹都市)への義援金を預かる

幸いなことに、目黒区の独特なシステムですが、各区立小学校の通学区をベースに「住区住民会議」という組織があることが判りました。それぞれ頭に小学校の名称を付け、私の地域ですと東根小学校の通学区ですので「東根住区住民会議」となります(H.P.参照)。簡単に言うと官制のNPO法人です。

活動資金は全額目黒区から補助され地域内の町会、小学校、中学校、各PTA、住民によってボランティアで構成され、様々な活動を主催・支援しています。また活動拠点として区所有の「住区センター」があり16人を雇用(有料)して貸会議室、和室、調理室、貸しホールの運営を任せています。

組織には事務局、会計、施設管理部、広報部、環境部、厚生部、青少年部等があり、私も62歳の時、最初は施設管理部の一員として入り、その後環境部長を任せられ、地域の皆さんとの交流を重ねながら小・中学校長、同じくPTA、管轄下7町会の町会長とも親しく顔つなぎ出来、認められて来ました。

いつの間にか、いまは組織の会長に選任され2期目となります。地域の長老達、若いPTAの皆さん、そして子ども達の笑顔に囲まれながら、目黒区と協働して行政が直接手の届かないキメ細かなサービスを提供しています。

最後に、いま私が頭を痛めている案件は、今年5月の総会で会長職を退くや否やです、後継者の選任もありますし……、これはまた最初の世界へ戻るような話ですね?

しい日々をスタートさせたいと考えました。

ライフスタイルとしての百姓

高15回 後藤 守孝

「大学出で、百姓になるつて!」母の最初の言葉である。ここ鴨川の地に決めた時も、不動産屋には「奥さんの了解は得られているんでしょうね?」と二回も念押しされた。それほど不安視されるのが百姓生活なんだろう。が、60歳を機に、従来続けてきた家庭菜園をこれから的人生で極めたい、との思いから一步を踏み出した。

高齢化のおかげで運よく、遊休田畠を6反歩ほど借りられ、今は畑仕事に励む日々を送る。山登りなどのアウトドア活動の好きな私には、里山の景観を眺めながらの肉体労働は性に適っているようで、起床時にも「今日はこれとあれを」と楽しい計画をめぐらす身となつた。

家庭菜園から本格的な農作業に気負つて入ったものの、経験不足はどうしようもなく、失敗の連続もある。稻刈りを



自走式脱穀機 ハーベスタで脱穀

早朝、露のあるうちから始めて、機械をつまらせ壊したこともある。「露の乾いた9時過ぎ以降にやるもんだよ」と隣のお百姓さんから教えられる。また無理を重ね、今はひじやひざに慢性的な痛みをかかえるようになってしまった。先輩のお百姓から「疲れたから休むのではなく、疲れないために休め」とさとされる。眺めてみれば周りのお百姓さんは、時報が鳴ればすぐ畑から引き上げる。体一つで毎日続く仕事への慣れた規律なんだろ

う。いろいろ体験させてくれる百姓生活だが、直売所での売り上げ以外にも楽しみ

はかる農家からは叱られそうだが、これも人生60年以上生きてきたものに許される、ひとつ的生活ではなかろう。

「そんなんで食えるの?」と企業化をはかる農家からは叱られそうだが、これがかかる農家からは叱られそうだが、これも人生60年以上生きてきたものに許される、ひとつ的生活ではなかろう。

が多い。べたいもの

を思いつき

り味わえる

のもそのひ

とつだ。枝

豆やソラマ

メを山盛り

に出せば、

友人たちも

訪ねて來た

エネルギーを燃やせ！

高35回 板倉 信吾

私が商社を希望したのは極めて単純な理由からでした。規模の大きな会社がそのまま大きな仕事をしていると考えたからです。地元岡崎の英雄、徳川家康が天下をとつて江戸に城を構えた志に影響されていたのか分かりませんが、単純に東京で一旗揚げてみたいと思つた時に、頭に浮かんだ会社が商社でした。

当時、1988年という時代背景はブルに向かつて日本が突き進んでいた頃であり、常に右肩上がりの志向でした。海外を相手に、スケールの大きな仕事をあつた事を幸運だつたと思います。私は織維部門に配属され、衣料品のモノ作りに関する事を徹底的に教え込まれ、それをベースに香港駐在となりました。その後アパレル会社と縁が深くなると、その同出資した事業会社に出向となり、ロン

港やロンドンでの生活から得たもの、さらには三菱商事という会社文化から得たもの全てが、自分の自己実現を十分満たす理由からでした。規模の大きな会社がそのまま大きな仕事をしていると考えたからです。地元岡崎の英雄、徳川家康が天下をとつて江戸に城を構えた志に影響されたのか分かりませんが、単純に東京で一旗揚げてみたいと思つた時に、頭に浮かんだ会社が商社でした。

「エネルギー」は人生の推進力としてもつとも大事な要素です。政治が、経済が、会社が、学校が、という前に自らの目標を立て、その自己実現に対しエネルギーを燃やし続ける事の大切さを感じます。そして自己実現できたときには自分に対する褒美も大事です。人生を有意義に過ごす事が大事であると思います。

現在、私は三井物産株式会社のソーラービジネス事業部に所属し、国内におけるメガソーラーの開発を担当しています。東日本大震災以降、原発依存に対する問題意識の高まりを受け、今年7月より太陽光や風力等自然由來の電気の買取りを電力会社に義務付ける「全量固定価格買取制度」が導入されます。太陽光発電事業は正直なところ、あまり儲かる話ではありません。電力会社による買取価格はこれから決定されますが、電気料金値上げという形で全国民に転嫁されるのが、成長著しいインドの人々のより快適な生活への欲求や爆発的なエネルギーを体感し、援助という形ではなく、この人たちと一緒に何かやりたいと思ったので

なぜこの仕事を？——商社の巻

私は仕事を通じて出会った人たちや、香港やロンドンでの生活から得たもの、さらには三菱商事という会社文化から得たもの全てが、自分の自己実現を十分満たす理由からです。規模の大きな会社がそのまま大きな仕事をしていると考えたからです。地元岡崎の英雄、徳川家康が天下をとつて江戸に城を構えた志に影響されたのか分かりませんが、単純に東京で一旗揚げてみたいと思つた時に、頭に浮かんだ会社が商社でした。

インター先の会社は、海外に販路拡大していきたいと考えており、私は3回程インド人上司とともに日本へ出張しました。当初は英語にも苦労する中、言わざり商品サンプルを大量に携え売り込みに行きましたが結果は惨敗。自分はその点における優秀さには驚かされます。ただ、人としてのエネルギーや寛大さに触れる事は少なかつたように思います。

世界を股にかけて……という商社マンのイメージとは少し違うと思いますが、いつか国内の開発モデルを日射量が豊富なインドや北アフリカに展開する野望を胸に秘めつつ、様々な企業の方と知恵を絞り合い、まずは国内への普及に全力投球したいと思います。

ことにより技術開発やコスト引き下げ、雇用促進に繋げる必要があると考えています。

私は地元の縁もあり、愛知県田原市に建設予定の日本最大級のメガソーラー案件を担当しています。これが完成すれば、1万9千世帯の電力を賄える計算となります。メガソーラーは東北の被災自治体からも復興計画の一つとして期待が多く、家屋や電柱の流失等で立地条件はかなり悪いのですが、なんとかできないかと度々被災地へ足を運んでいます。

私は地元の縁もあり、愛知県田原市に建設予定の日本最大級のメガソーラー案件を担当しています。これが完成すれば、1万9千世帯の電力を賄える計算となります。メガソーラーは東北の被災自治体からも復興計画の一つとして期待が多く、家屋や電柱の流失等で立地条件はかなり悪いのですが、なんとかできないかと度々被災地へ足を運んでいます。

メガソーラーを日本へ、そして世界へ

高56回 田中 愛

なぜこの仕事を？——といえば、大学時代に1年間、インドのアパレルメーカーでインターンをしたことがきっかけです。

元々途上国開発に関心を持っていましたが、成長著しいインドの人々のより快適な生活への欲求や爆発的なエネルギーを体感し、援助という形ではなく、この人たちと一緒に何かやりたいと思ったのであります。勿論、会社の仕事は苦労が多く、数字に対するプレッシャーは相当なものがあります。しかしながら会社業績で人評価が全て決まるわけではありません。



震災のつめあと 東北への初出張

同期の仲間

「丘の上の学び舎（思い出）」

中47回 神谷 和郎

私は昭和20年（1945年）3月に愛知県立岡崎中学校（現岡崎高等学校）を卒業した岡中47回生です。67年前に、あの丘の上の学び舎ではなく勤労動員先の日清紡美合工場で卒業式がありました。当時あの学園は、病気や特別な事情のある生徒を除いた全校約700余名が、いずれかの工場へ動員されて軍需物資の生産に励んでいたのです。そして空き屋になつた教室には俄かに召集された予備役の軍隊が駐屯しておりました。月謝を払って勉強するために入学したのに、竹槍や剣付鉄砲で藁人形に向つて「刺殺」の訓練を受けたり突撃の練習をさせられた挙句、それまでの授農や土木作業に加えて、昭和18年からは、徐々に軍需工場へ動員されてしまったのです。人殺しの訓練のために入学したのではないぞと心中大いに不満でしたが、軍国少年の集団と化した学校では、そんなことを夢にも言い出してはいけないシステムとなっていました。

昭和16年4月入学でしたから、本来は21年春に卒業（5年制）するのですが、戦局が敗色濃厚になり、繰り上げ卒業だといって勉強も疎にせずに、高等小学校2年程度の学力のまま無理矢理放り出されてしまったのです。血気にはやる一部の者は、軍事教官に煽られて海軍飛行予科練習生や陸軍特別幹部候補生などへ志願していましたが、私の知る限り21名の集団入隊が最大で、212名（4クラス）の学友のうち160名ほどは静かに入営者を送つて卒業しました。工場で記念に撮った卒業生一同の写真には生徒が157名写つておらず、212名との差が入営者と病気等による休学者だったのだろうと推察されます。

そしてその年の7月20日、恒例の菅生祭り（花火大会）の前夜に空襲の焼夷弾で校舎は焼失したのです。僅か26日間の差で終戦になったのですから、悔しくて悲しくて馬鹿馬鹿しい青春の学び舎の思い出でした。今残っているものは校地と正門の石柱のみです。

それからは戦後の混乱のなか、それぞれに夢や希望を胸に、学び、働きました。そして、50年前に初めて出逢った友人達と、故郷を遠く離れた東京で邂逅したのは平成3年（1991年）、それぞれの立場が第一人生から第二人生へと変換しつつある頃でした。在京16名中集う者9名、メーカー、銀行、役所、あるいは士業、家業と、歩いてきた道は異なれども、和やかに若き日来し方を話すことが多くて楽しい会合でした。翌平成4年5月には、入学50周年記念として段戸山登頂をなしとげ、爾来、毎年春秋の例会では「段戸の山」を高唱し、お互いの健康を祈ってきました。しかし、昨年4月の春の例会は出席者5名となり、また次の例会の日時を決めることができませんでした。

小学校3年で日中戦争、中学1年で太平洋戦争開戦と、まさに戦争の中で青春を過した悲劇の世代ではあります、生き延びて、戦後復興から高度成長までを担つて人生をおくれたことに、深い感謝の念を捧げるばかりです。

昨年秋、久し振りに段戸会総会に出席し、その盛況さに驚きました。明るく生き生きとした笑顔に接し、真にうれしく思いました。後輩の皆さんのが幸運を心より祈ります。

<元通信博物館長、勳三等瑞宝章受章>

段戸「山の会」2011秋の登山報告



天狗岳をバックに



D-miso入りの段戸会特製ほうとう鍋

山の会では例年、初心者も参加できる一般登山を春と秋に、登山経験者を対象とした北アルプス登山を夏に実施しています。どの山行も現役大学生からシニア先輩諸氏に至る多世代の会員が参加され、世代間交流もかねた充実した登山を楽しんでいます。7年目となる昨秋は、東海・関西在住の会員も加わった17名が晚秋の八ヶ岳を目指しました。八ヶ岳という名前の由来は、連峰が八つの峰から出来ているためとも言われており、主に、赤岳、天狗岳、横岳、硫黄岳、阿弥陀岳、編笠岳、権現岳、西山の八つを指します。今回はほぼ中央に位置する天狗岳への登頂を目指しましたが、

あいにく山頂付近が悪天候だったため登頂を早めに断念。そのかわり山麓に広がる広大な景色や高山湖周辺の神秘的な原生林など八ヶ岳の自然をじっくり堪能しました。宿泊した山小屋では、D-misoを活用した特製ほうとう鍋などを手作りし全員で秋味を満喫しました。定番の下山後の温泉や、手打ちそばと生ビールを加えた豪華反省会も計画通り実現、充実した一日を締めくくりました。毎年定期的に登山を計画する予定ですので山登りに興味のある方は是非ご参加ください。 板谷（高34回）

早稲田アンカー市川君！箱根駅伝を走る。

お正月のテレビ画面に驚き、そして声援を送った方も多いことでしょう。その市川君にお願いし、ご挨拶を寄せてもらいました。先輩、同期の声とあわせてどうぞ！

高61回 市川 宗一朗 早稲田大学競走部3年

この度はたくさんの応援、ありがとうございました。箱根駅伝は私にとって小さいころからの憧れの舞台であり、夢の舞台でした。早稲田大学に入学し、地道に努力した成果がやっと実を結んだと感じ、当日は非常に楽しく、気持ち良く走ることができました。それと同時に勝負の世界の厳しさ、負けた悔しさも肌で感じました。幸いにも3年生の私にはリベンジするチャンスがあります。来年必ず走れる保証はありませんが、今年の雪辱を晴らすべく一心に邁進して参ります。そして「岡崎高」の名前がもっと大々的に取り上げられるほどの活躍を目指します！ご声援の程、どうぞ宜しくお願い致します。



高60回 篠原 国智

僕は市川君と岡高の陸上部で同じ長距離組として一緒に走っていましたが、その頃から彼の走りは一級品でした。また彼が努力家であることも知っていたので、箱根を走ると聞いたときも、驚くというよりはその努力を讃えたい気持でした。走っているときのスタイルで見ていたら、タスキを受け取る直前の市川君は満面に笑みを浮かべていました。この大舞台でこれだけの笑顔を見せることができるなんて、いったいどういう精神構造をしているんだろうと思ったのですが、走ることに真摯に向き合っている彼だからこそ、あの場で走ることが嬉しくて仕方なかったのでしょう。来年もまた市川君の笑顔を、その勇姿を見ることができますを、元チームメイトとして、また一ファンとして楽しみにしています。

高61回 新見 由佳

日本中が注目する舞台で同級生の市川君が力走する姿に感動しました。岡高時代から大活躍し、勉強とも両立させて、文武両道とはまさに市川君のことです。更にすごいと思ったのは、あの日すぐに「来年のために明日からまた始動する」とSNSにてコメントしていたことです。一区切りついたのだから少しぐらい休憩してもいいはずなのに、すぐに切り替えて明日からまた始動するという。真に努力するとはこういうことなのかと感じました。熱く努力し続ける市川君を心から尊敬しています。そして、私も目標に向かって必死に頑張っていこうと決意を新たにしました。来年も頑張ってください。同じ岡高生、早大生として応援しています。

平成24年度世話人

(高2回)服部 登	(高16回)野村 親信 副会長
(高3回)丹羽 鼎 会計監査	(高17回)伊与田正彦
(高6回)有馬 弘政	佐伯 寛子
(高7回)是津 定利	山田 博子
(高8回)杉浦 嘉久	(高18回)山内 恵 広報担当
田中 厚生	(高19回)都築 正行 会計
(高9回)岡田 敏夫	福山 透 情報担当
(高10回)山本 真司	村木 央明 事務局長
(高11回)永田 宏 会長	(高20回)天野 隆太郎 副事務局長
中根 淳	辻村 貴典 副事務局長
(高12回)鶴田 文男	(高21回)小栗 恵子
成瀬 徹	山田 俊文 情報担当
(高13回)中 浩之	(高22回)上田 洋子 副事務局長書記
(高14回)磯尾 進 広報担当	中村 賢治
水谷 鏡子 副会長	(高23回)野々山 浩 会計
(高15回)神谷 国広	(高25回)戸田 讓三 会計監査
満江 信之	(高26回)織田 利彦 副事務局長

(高16回)伊与田正彦	(高30回)米津 智徳
佐伯 寛子	(高31回)高原 正之
山田 博子	(高33回)阿部由美子
(高18回)山内 恵 広報担当	会員担当
(高19回)都築 正行 会計	(高34回)板谷 敏正
福山 透 情報担当	企画担当
村木 央明 事務局長	井上由美子
(高20回)天野 隆太郎 副事務局長	(高35回)岡田 敦嗣
辻村 貴典 副事務局長	菅 伸介
(高21回)小栗 恵子	会員担当
山田 俊文 情報担当	(高38回)中西 和幸
(高22回)上田 洋子 副事務局長書記	(高40回)大田 武
中村 賢治	(高41回)磯谷 陽子
(高23回)野々山 浩 会計	企画担当
(高25回)戸田 讓三 会計監査	平山 健二
(高26回)織田 利彦 副事務局長	(高42回)長野 麻子 広報担当
山口 知子 情報担当	(高43回)八田 益之 会員担当
(高27回)長田 光雄	(高44回)松尾 直樹 情報担当

(高45回)筒井 貴之 情報担当	(高48回)藤井 晋也
西浦 瑞恵 情報担当	(高49回)青島 信吾
(高46回)大川 博	(高50回)鳥居 福代 情報担当
小椋 俊博	(高52回)今泉 貴雅
(高47回)杉本いづみ	近藤 佳子

(高53回)小野 靖王	(高53回)小野 靖王
(高57回)加納 実久	(高57回)加納 実久
(高58回)石川 航己	(高58回)石川 航己
鈴木菜穂子	鈴木菜穂子
(高59回)竹内 愛実	(高59回)竹内 愛実
塚本 有香	塚本 有香
内藤 茂弥	内藤 茂弥
(高60回)篠原 国智	(高60回)篠原 国智
杉浦 綾香	杉浦 綾香
吉村 圭吾	吉村 圭吾
(高61回)新見 由佳	(高61回)新見 由佳
(高62回)大山なつみ	(高62回)大山なつみ

《サークル活動》に関するお問い合わせ 皆さまの参加をお待ちしております！

“段戸団碁会”

(代表：藤田 訓弘 高13回) kfujita@muc.biglobe.ne.jp

“段戸華教室”

(代表：西浦 瑞恵 高45回) usagi-m@msg.biglobe.ne.jp

“段戸音楽会”

(代表：山田 博子 高17回) marcialegow2w-danon3@memoad.jp

“段戸句会”

(代表：小森 葍子 高13回) shigeko_komori@ybb.ne.jp

“段戸「山の会」”

(代表：板谷 敏正 高34回) itaya@propertydbk.com

“段戸ゴルフ会”

(代表：木村富司雄 高10回) BYR10566@nifty.ne.jp

「首都圏段戸会」は愛知県立岡崎高校の首都圏同窓会です。
公式ホームページ <http://homepage3.nifty.com/dandokai/>

第39回(H23年) 首都圏段戸会総会出席者

岡高OBの恩師は各年次に含めています。

(恩 師)	藤原 肇	小澤正樹	(高14回)	阿部 完二	天野 彰		木村美穂子	中野宏信
	永田裕孝	古田幹雄		磯尾 進	磯村澄江		米津智徳	
	横井勝市			太田眞澄	大館眞弓	(高31回)	小林 淳	高原正之
(中47回)	神谷和郎			金澤忠幸	糸田輝義	(高32回)	堀内友二	
(高2・中51回)	青山敦夫	石川耕春		笹瀬修	中島綾子	(高33回)	青木良子	阿部由美子
	今井敏夫	太田 久		古澤武雄	水谷鏡子		澤田茂則	鈴木眞成
	服部 登		(高15回)	佐野公治	杉崎慎一郎		八田耕太郎	
(高3・併23回)	宇津野隼千	小澤一郎	(高16回)	大山達雄	鈴木弘恵	(高34回)	板谷敏正	井上由美子
	鏑木道子	久保雅之		野村親信			岡田昌江	国松佐和子
	後藤三千代	高井美智子	(高17回)	伊藤 裕	伊与田正彦		畔柳明弘	柴田真澄
	高橋守雄	丹羽 鼎		佐伯寛子	鈴木 寛		高橋智江子	柘植千明
	蜂須賀芳昭	平井英次		高倍鉄子	竹嶋栄子		成瀬 健	長谷部誠
	松井淳子			徳倉哲夫	中尾幸男		山下 薫	吉村玲子
(高6回)	有馬弘政	長瀬けい子		中野房子	深谷美智子	(高35回)	大見洋平	岡田敦嗣
(高7回)	青山明博	市川 毅		武藤隆子	山田博子		菅伸介	鈴木山人
	近藤 衛	斎藤悦子	(高18回)	音部昌宏	佐口正司		古澤昌宏	松井寛人
	杉山 修	是津定利		竹内義人	山内 恵	(高38回)	内田 力	中西和幸
	永田綾子	吹抜敬彦	(高19回)	石榑直美	岡部芳郎		中山道久	
	村上灝子			近藤陽一	坂田徳雄	(高40回)	大田 武	
(高8回)	安藤逸平	小野勝巳		宍倉由美子	都築正行	(高41回)	磯谷陽子	重徳和彦
	工藤圭章	杉浦嘉久		中島邦子	福島安史	(高42回)	大河内雅彦	長野麻子
	高橋道人	田中厚生		福山 透	宮崎収兄	(高43回)	青井誠一郎	八田益之
	外村 仁			村木央明		(高44回)	松尾直樹	松田晴光
(高9回)	岡田敏夫	高木治子	(高20回)	天野隆太郎	伊与田あさ子	(高46回)	大川 博	
(高10回)	宇佐美忠利	木村富司雄		遠藤 昇	神尾由恵	(高47回)	杉本いづみ	
	山田 敏	山本 馨		北野光敏	関戸博高	(高48回)	羽佐田泰弘	藤井晋也
	山本眞司			寺田明子	成田雅則	(高49回)	鳥居福代	
(高11回)	阿部泰子	今井哲夫		山本良二	吉原 誠	(高50回)	今泉佐和子	今泉貴雅
	梅村豊子	杉山樹三郎	(高21回)	渥美忠男	天野 茂	(高52回)	近藤佳子	
	竹嶋俊紀	永田 宏		小栗恵子		(高53回)	辻内直子	
	中根 淳	中村嘉子		早川(純次)久右衛門		(高57回)	井脇浩之	加納実久
	服部豊治	本多慶成		兵藤幸治	山田俊文		川口敦子	
	水野義之	室 忠夫	(高22回)	池田盛彦	上田洋子	(高58回)	石川航己	鈴木菜穂子
(高12回)	伊藤秀一	稻垣早苗	(高23回)	清水郁夫	野々山 浩		鳥山順丘	松嶋みゆき
	奥村 憲	神谷信行	(高24回)	大島一嗣		(高59回)	川野健太	近藤真理子
	菅野則彦	近藤祥子	(高25回)	内田 寛	太田 勉		谷繁樹林	長坂一葉
	立花陽子	田中眞喜子		樋江和徳		(高60回)	渥美翔太郎	荒木 優
	堤 三郎	鶴田尚弘	(高26回)	大山幸信	織田利彦		遠藤寛士	篠原国智
	鶴田文男	内藤雅彦		中根伸二	山口知子		杉浦綾香	田畠志穂子
	成瀬 徹	吹抜洋司		山本修己			内藤恵子	本多健太郎
	星野陽一		(高27回)	池田一三	長田光雄		吉村圭悟	
(高13回)	新井康夫	神道千秋		八田欣也	山崎正枝	(高61回)	中根可奈子	新見由佳
	鈴木康允	中 浩之	(高28回)	石田邦雄	三枝奈芳紀		平野優未	
	藤田訓弘	本多正之		酒井邦彦		(高62回)	大崎友莉	大山なつみ
	村木克好		(高30回)	石川定雄	岡本和也			